



言葉のやさしさ、力強さ

教頭 兵頭 俊昭

昨年11月、詩人の谷川俊太郎さんが亡くなりました。そのニュースを見たとき、私は絶句しました。

このおかのうえ このがっこうは みんなのちからで そだってく

(「かんがえるのって おもしろい」 谷川俊太郎)

昨年の4月、学校だより「根」に掲載した記事に引用したのが谷川さんの詩でした。また、6月の朝会では谷川さんの「おならうた」を紹介し、子どもたちと楽しく読みました。約20年前、県外の研究会で谷川さんのユーモアある中でも優しく、力強いお話を聞き、帰りに詩集を買って以来、多くの谷川さんの詩を読み、子どもたちにいろいろな場で紹介してきました。今でも私の大好きな詩人です。

なぜ谷川さんの詩が好きなのか、考えてみました。そのキーワードは、「言葉のやさしさ、力強さ」でした。しんどいときに「大丈夫だよ。」と語りかけるような言葉、頑張っているときに「いいぞ、いいぞ。」と励ましてくれるような言葉、疲れたときに「ぷっ。」とちょっと笑いを誘うような言葉、谷川さんの詩にはそんな言葉がいっぱい詰まっています。私はその言葉に支えられ、励まされてきました。だから、私は谷川さんの詩が好きなのです。

現代、インターネットやSNSの普及で、世の中はたくさんの言葉であふれています。残念ながらその中には、人を傷つけたり、悲しませたりする言葉もあります。父二峰の子どもたちには、ぜひ「やさしく、力強い」言葉を周りの人に伝える人になって欲しいと願いながら言葉を交わしています。



ふるさと参観日・どんど焼き

参観日には、書き初めの様子を見ていただいたり、冬の遊びを教えていただいたりしました。その後、学校支援連絡協議会の皆様にご協力いただき、どんど焼きをしました。竹に刺して焼いたおもちを食べながら、一年の無病息災を祈りました。



あやとりでは、かめやほうきの作り方を教えてもらいました。折り紙でくす玉を作っている人がいました。5年 久保 莉子

雪の中でのどんど焼きはとてもきれいで暖かかったです。地域の方とたくさんお話をしながら楽しかったです。5年 穂山 結菜

スキー教室

前日までの積雪のおかげで、いいコンディションでのスキー教室になりました。あっという間に上達し、全員がリフトに乗って滑ることができました。



滑っているうちに転ぶ回数も少なくなり、スキー板を「ハ」にして滑ることもうまくなりました。

2年 佐藤 楓

リフトに乗って上に行った時はすごくドキドキしました。リフトにたくさん乗って楽しかったです。

3年 大野 日

早い段階から上級コースに行きました。最初はこけたけど、時間がたつとこける回数が少なくなりました。6年 大野 蓮斗

郷土料理実習

地域の方に教えていただきながら、たかきびのだんご汁、雑穀ごはん、スイートポテトを作りました。講師の先生に教わりながら、進んで調理をする子がたくさんいました。自分たちで作ったご飯、おいしかったですね！



避難訓練

学校に不審者が来たという想定で訓練を行いました。久万高原警察署の方や駐在所長さんから、在校時だけでなく、登下校中などに危ない目にあった時の対応の仕方について教えていただきました。

